

漢和辞典

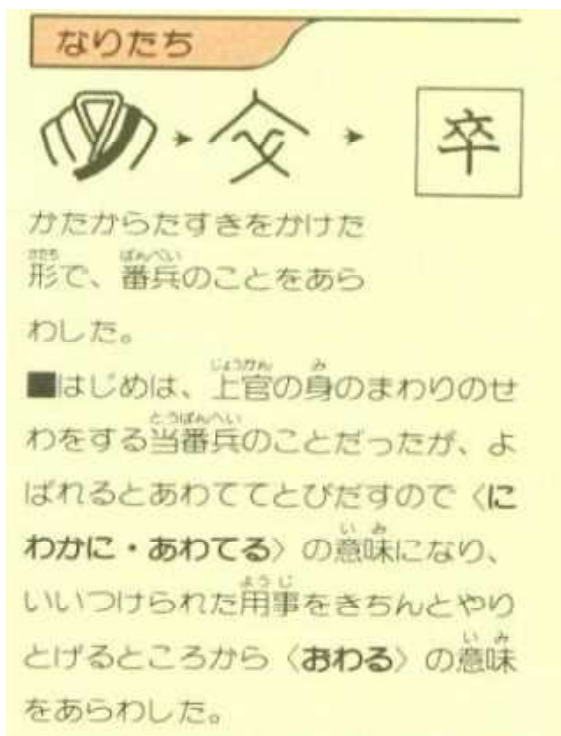


私 語源オタクでありまして、いろいろな言葉の意味や語源が気になります。素粒子論で「カラー理論」というのがあります。 何で素粒子と「色」が関係あるねんと、ネーミングのことが気になり、肝心の理論の先へは進めませんでした。

語源辞典は漢和辞典にはじまり 4000 円もする語源辞典や文庫本や世界の地名辞典など 10 冊ばかり本棚に並んでいます。 並んではいますが、調べたり読んだりは ごく僅かです。

中でも一番よく見るのは 小学生用「下村式 漢字学習辞典」です。

「オタク」ですから種々雑多にいくらでもあります。 中学生にも分かるようなこの下村式辞典から 2 つだけ取り上げましょう。 読んだ時は ヘエ〜と感心しました。



卒業の「卒」です。 これは「一兵卒」とか「卒中」などにも使います。

この3つの使い方、共通性というか つながりが分かりません。

そこで 調べたのが 左の切り抜きの通りです。

次に「原」です。

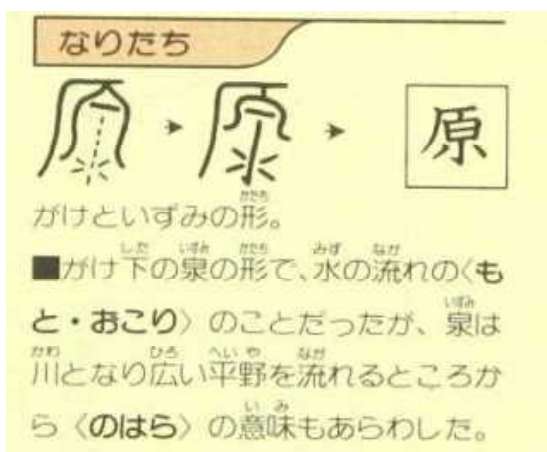
座標の授業で「原点」の説明の時、生徒に原という子がいまして、これは あんたの点やでと しょうもない事を言って話を続けました。

職員室へ戻ってから ふと 思いました。

何で「原っぱ」が原点や原子など「〜のもと」という意味になるんやろかと。

そこで早速 下村先生にきくことにしました。

左の切り抜きのような答えでした。



私自身は ヘエ~と思ったのですが、次の時間に その子に言うと、そんなんより 数学ちゃんと教えて欲しいわ、、、。 でした。

[地 名]

地名の??も多くあります。 自分の住む奈良の語源。 あまり平地の少ない明日香の地から平地の広い今の奈良市で 新しく平城京がつくられました。 土地を「ならす」 平らな土地という意味や、朝鮮の言葉で国のことを「ナラ」と言うそうで これから来たのではないかななどの諸説があります。

これら地名の雑学を 授業の雑談で言ったかどうか憶えていませんが、どなたもよくご存知のエレベストだけ挙げておきます。

エベレスト ヒマラヤ チョモランマ これら3つは同じ世界最高峰の山の名称です。

「ヒマラヤ」は古代サンスクリット語 つまりは現地インドの言葉で「雪の住みか」という意味。

「チョモランマ」は山の北側チベットの言葉で、チョモは女神の名前。この山を含めて5つの山を霊峰とあがめていまして、この山は第3番目（ランマ）の山ということらしいです。

「エベレスト」1920年代から初登頂成功の1953年までイギリスの登山隊の挑戦がありました。

インド測量局長官のジョージ・エベレストにちなんだ名称です。